

基本構想検討シート

テーマ：子どもの未来と文化をはぐくむまち　～生涯学習の推進～

10年前の書きぶり（4次長計）		
構想レベルの課題	構想レベルの方針	方針に基づく基本事業（参考）
① 市民だれもが、自由に学び、スポーツに親しむ機会を持ち、東久留米の歴史や文化を伝承し、かつ薫りを感じながら、生涯にわたって豊かな人生をおくることができるまちをめざします。	・だれもが生涯を通じて主体的に学び、スポーツや文化・芸術に親しみ、日常生活において、ゆとりや豊かさを実感できるよう、生涯学習活動の充実に努めます。 ・市民の生涯学習活動を支えるさまざまな資料や情報の蓄積に努めるとともに、高度化、多様化する利用者ニーズに的確に対応し、学習の成果を地域活動で生かせる環境や交流の機会の充実を図ります。	☐生涯学習活動の充実 ☐図書館サービスの充実 ☐文化財の保護・活用 ☐市民スポーツの振興

このテーマについて現状の課題などを書き出してみると・・・

5次長計	
以下、「施策の評価・検証」、「基礎調査データ」、「市民・団体アンケート」より課題などを抜粋しています。	今の課題、方向性に対するキーワードは
・日頃から（週に1回以上）生涯学習活動を行っている市民の割合は25.6%、市の事業により新たに生涯学習を始めた市民は11.3%にとどまっている。 ・生涯学習センターの大規模改修を進め、老朽化対応と施設機能の改善を図っていく。 ・図書館について、老朽化した施設の改修に伴い、ユニバーサルデザインの考え方に基づく環境整備が必要である。 ・文化財を一か所に集中して保管する施設がなく市内の施設に分散して保管しており、各施設の老朽化も進んでいるため、増加する文化財資料の保管場所も含め、新たな集中保管施設の確保が課題となっている。 ・2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて、機運醸成事業を実施していく必要がある。 ・市民が気軽にスポーツを行うためには、施設や環境が整えられていることが必要であるが、「市内で気軽にスポーツができる場がない」と感じている市民は、53.3%となっている。 ・市民スポーツ教室等の参加者数は増加傾向となっている。 ・市内の図書館の登録者数及び一日平均貸出冊数は減少傾向となっている。 ・体育館の利用者数は増加傾向となっている。 ・33.9%の市民が市の目指すべきまちの姿として「子どもを大切にする、子育てや教育の充実したまち」と答えた。 ・16.3%の市民が市の目指すべきまちの姿として「気軽にスポーツを楽しんだり、優れた芸術文化にふれあえる、スポーツ・文化の充実したまち」と答えた。 ・本施策に市民の23.6%が満足、23.8%が満足していない。 ・本施策を市民の60.8%が重要と考えている。 ・市民が考える優先すべき取組みとして、「「地域を支える図書館」としての機能充実」、「地域活動による生涯学習の推進」、「放課後子供教室の推進」の順で高くなっている。	ご意見を準備していただくためのメモ欄です ■生涯学習活動の充実では、 ■図書館サービスの充実では、 ■文化財の保護・活用では、 ■市民スポーツの振興では ■このテーマに欠けている視点は、